

庁議の概要

開催日 平成19年11月26日(月)

◎項目

- 1 高知県知事選挙の結果について【政策企画部】
- 2 「花・人・土佐であい博」プレ事業等について【観光部】

◎内容

1 高知県知事選挙の結果について【政策企画部】

11月25日に行われた高知県知事選挙の結果について、報告を行った。

【説明概要】

- ・ 投票率については、45.9%と過去の知事選挙では一番低い投票率となった。
- ・ 選挙結果は、橋本知事の誕生に引き続き、全国で一番若い知事が誕生することになり、現在は岩手県の達増知事が一番若い、新知事になると一番若くなる。

2 「花・人・土佐であい博」プレ事業等について【観光部】

「花・人・土佐であい博」プレ事業の状況及びカシオワールドゴルフについて、報告を行った。

【説明概要】

- ・ 「花・人・土佐であい博」については、プレ事業がほぼ終了した。(11月末まで)
- ・ そのうち、推進委員会の直轄事業である「土佐のキャンドルナイト」は、7万7,500の方が商店街やお城に来ていただき、皆さんからお褒めの言葉をもらった。また、ぜひ継続をしてほしいとの話があったので、検討していきたい。
- ・ 参加いただいた7万7,500人の約30%の方は、県外から来ていただいている(本部でのキャンドル販売の際の聞き取り結果による)。この間、高知城を夜9時まで開館し、約1万600人の入館者があり、そのうち、夕方4時半以降の入館者が40%の約4,000人となっており、追手門のライトアップ等と重なりあって、非常に効果が高かった。
- ・ もう一つの直轄事業である「塩の道」への取り組みは、宿泊を伴うコースの参加募集に課題を残した(平日ということもあり再募集で定員に達した。)
- ・ 地域が行うイベントでは、日帰りや定員を構えないイベントについて、成果があがった。
- ・ 今後、プレ事業を十分精査し、3月1日からの本番に生かしていきたい。
- ・ 昨日まで行われたカシオワールドゴルフについて、ギャラリー数は約1万2,000名で、昨年の約9割であった(3回の中で一番ギャラリー数が少なかった。)。この約1万2,000人で、約2割の方が県外からで、ほとんどが四国内から来ていただいた(駐車場で県外ナンバー数調べ)。

【主な意見】

- ・ キャンドルナイトは若い男女が来ており、工夫すれば発展可能性があるのでは。
 - ・ 「プレ花・人・土佐であい博」プレ事業は、県内の誘導を狙っていたのか。
- 県外である。「花・人・土佐であい博」は県外のお客様を呼ぼうという取り組みである。プレの場合、県内の方にもぜひ自分たちの地域資源の良さを知ってもらおうということもあって、県内外に声をかけた。結果、全体的には県内の方が多かった。

- ・ エージェントとの役割分担はどうなっているのか。
- 県外のエージェントに対して商品化をお願いしたが、期間的に間に合わなかった。今回、エージェントや旅行雑誌等にはモニターツアーとして入ってもらった。
- ・ 旅行会社等に事業を割り当て、競わせてはどうか。
- 商品の人数が少ないので、大きなエージェントが入ってくるのは、難しい。今回の反省として、一つの商品に特化してどこかの旅行会社に売り込んでいくことができず、全体のPRしかできなかった。
- ・ 逆にこちらから旅行会社に対し、どの時期にどのようなツアーを考えているかリサーチし、それに対しその時期にはこういったものがあるとして組み込んでもらってはどうか。
- ・ イベントで大切なのは、県民の方がそのイベントで楽しんでもらうことが先決で、そこから盛り上がって県外の方の注目を集める。いきなり成果を期待するよりは継続して育て上げていくことのほうが大事だと思う。
- 単品ではなかなか厳しい。宿泊等と組み合わせ、1つの流れをつくる商品にしないと売れないと感じた。